

令和4年土佐清水市議会定例会7月会議会議録

第1日（令和4年7月14日 木曜日）

~~~~・~~~~・~~~~

議事日程

日程第1 審議期間の決定

日程第2 会議録署名議員の指名

日程第3 議案第44号 令和4年度土佐清水市一般会計補正予算（第3号）について

（質疑、議案の委員会付託、委員長報告、委員長報告に対する質疑、討論、採決）

~~~~・~~~~・~~~~

本日の会議に付した事件

日程第1から日程第3まで

~~~~・~~~~・~~~~

議員定数 12人

現在員数 12人

~~~~・~~~~・~~~~

出席議員 12人

| | | | |
|-----|-------|-----|-------|
| 1番 | 谷口佳保君 | 2番 | 弘田 条君 |
| 3番 | 武政健三君 | 4番 | 山崎誠一君 |
| 5番 | 吉村政朗君 | 6番 | 作田喜秋君 |
| 7番 | 岡本 詠君 | 8番 | 甲藤 眞君 |
| 9番 | 細川博史君 | 10番 | 前田 晃君 |
| 11番 | 浅尾公厚君 | 12番 | 永野裕夫君 |

~~~~・~~~~・~~~~

欠席議員

なし

~~~~・~~~~・~~~~

事務局職員出席者

| | | | |
|--------|--------|------|--------|
| 議会事務局長 | 早川 聡君 | 局長補佐 | 中嶋 由美君 |
| 議事係長 | 山本 卓己君 | 主 幹 | 村田 圭佑君 |
| 主 事 | 藤井 裕廉君 | | |

~~~~・~~~~・~~~~

出席要求による出席者

|   |   |         |   |   |   |         |   |   |   |   |   |   |   |   |     |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---------|---|---|---|---------|---|---|---|---|---|---|---|---|-----|---|---|---|---|---|---|
| 市 | 長 | 泥谷 光信 君 | 副 | 市 | 長 | 磯脇 堂三 君 |   |   |   |   |   |   |   |   |     |   |   |   |   |   |   |
| 会 | 計 | 管       | 理 | 者 | 兼 | 税       | 務 | 課 | 長 | 兼 | 谷 | 崎 | 清 | 君 |     |   |   |   |   |   |   |
| 会 | 計 | 課       | 長 | 井 | 上 | 美       | 樹 | 君 | 固 | 定 | 資 | 産 | 評 | 価 | 員   |   |   |   |   |   |   |
| 企 | 画 | 財       | 政 | 課 | 長 | 横       | 山 | 英 | 幸 | 君 | 総 | 務 | 課 | 長 | (併) |   |   |   |   |   |   |
| 危 | 機 | 管       | 理 | 課 | 長 | 吉       | 永 | 敏 | 之 | 君 | 選 | 挙 | 管 | 理 | 委   | 員 | 会 | 事 | 務 | 局 | 長 |
| 消 | 防 | 長       | 味 | 元 | 博 | 文       | 君 | 農 | 林 | 水 | 産 | 課 | 長 | 兼 | 和   | 泉 | 政 | 彦 | 君 |   |   |
| 観 | 光 | 商       | 工 | 課 | 長 | 二       | 宮 | 眞 | 弓 | 君 | 農 | 業 | 委 | 員 | 会   | 事 | 務 | 局 | 長 |   |   |
| 教 | 育 | 長       | 岡 | 崎 | 哲 | 也       | 君 | こ | ど | も | 未 | 来 | 課 | 長 | 中   | 津 | 恵 | 子 | 君 |   |   |

~~~~・~~~~・~~~~

午前10時00分 開 議

○議長（永野裕夫君） 皆さん、おはようございます。定刻でございます。

ただいまから令和4年土佐清水市議会定例会7月会議を開きます。

直ちに本日の会議を開きます。

日程第1、「審議期間の決定」を議題といたします。

お諮りいたします。

7月会議の審議期間につきましては、本日1日といたしたいと思っております。これに御異議の方はございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（永野裕夫君） 御異議なしと認めます。よって7月会議の審議期間は、本日1日と決しました。

日程第2、「会議録署名議員の指名」を行います。

会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、10番前田晃君、11番浅尾公厚君を指名いたします。

日程第3、市長提出、議案第44号「令和4年度土佐清水市一般会計補正予算（第3号）について」を議題といたします。

この際、提出者に提案理由の説明を求めます。

市長。

（市長 泥谷光信君登壇）

○市長（泥谷光信君） おはようございます。議長にお許しをいただきましたので、マスクを外して提案理由を報告をさせていただきます。お許し願いたいと思っております。

本日ここに、令和4年土佐清水市議会定例会7月会議の開催に当たり、一言御挨拶を申し上げ

げます。

我が国の憲政史上最長を記録した安倍元首相が7月8日、奈良市で参議院議員選挙の街頭演説中に銃撃され、亡くなりました。犯行の詳しい動機や背景は、今後の捜査等で解明されなければなりません。選挙期間中の蛮行は、民主主義への挑戦であり、断じて許されるものではなく、いかなる理由であれ、暴力によって言論が封殺されることはあってはなりません。今回の事件は、法治国家としての根幹にも関わることであり、最も強い言葉で非難をするものであります。改めて、心より御冥福をお祈りいたします。

さて、今年、郷土の偉人であるジョン万次郎をえにしとして、平成5年2月3日に姉妹都市の縁組を行いました沖縄県豊見城村が、平成14年4月1日に市制を施行して20周年の記念の年に当たります。これまでの姉妹都市交流事業では、双方の職員による人事交流をはじめ、本市開催のジョン万祭りへの参加、少年野球チームが相互に訪問するスポーツ少年団による交流事業など、29年にわたり親交を深めてまいりました。改めて、この間の御縁に感謝を申し上げますとともに、市制施行20周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。今後も、ジョン万次郎をえにしとした姉妹都市提携の友好関係を末永く継続していただきますとともに、豊見城市のさらなる市勢発展を心から御祈念申し上げます。

続きまして、全国的に感染者数が急増し、高知県を含む全国各地で過去最多を更新するなど、第7波の様相が顕著になってきた新型コロナウイルス感染症について、今回の増加要因がワクチン効果の減少と、免疫を擦り抜ける性質を持つとみられるオミクロン株派生型BA・5への置き換えが急速に進んでいることが指摘されております。

本市におきましても、2月14日から在宅高齢者への3回目のワクチン接種を開始し、接種から約5か月が経過しているため、今後の動向を注視していく必要があります。

3回目のワクチン接種状況については、7月10日時点で12歳以上の接種率が74.26%となっており、年齢別で見ますと、65歳以上の高齢者が85.21%、12歳から64歳まで60.82%と、若年層の接種率が低くなっております。

一方、4回目のワクチン接種では、対象となる60歳以上の在宅の方への接種券を6月29日に発送するとともに、接種時期に合わせて対象の方々に順次接種券を発送することとしており、7月14日から市内医療機関で個別接種を開始し、24日、31日、8月7日には、旧清水保育園で集団接種を実施いたします。

なお、18歳以上60歳未満の基礎疾患がある方や、その他重症化リスクがある方でワクチン接種を希望する場合は、市役所健康推進課での接種券発行の申請手続が必要となります。ワクチン接種期間が9月30日までとなっておりますので、引き続き市内の医療機関に御協力をいただきながら、希望する市民の皆様にワクチン接種が円滑かつ迅速に実施できますよう取り

組んでまいります。

また、本市におきましては、小学校でのクラスター感染が収束した後も散発的に新規感染者が確認されておりますので、引き続き国の基本的対処方針に基づいたマスクの着用、3密の回避、十分な換気対策、小まめな手指消毒をはじめとした基本的な感染防止対策の徹底をお願い申し上げます。

それでは、御提案いたしました案件につきまして、御説明申し上げます。

議案第44号「令和4年度土佐清水市一般会計補正予算（第3号）」は、令和5年度のリニューアルオープンに向けて改修予定の新地場産品販売施設改修事業について、全国的な資材高騰等により、工事費が不足したことに伴い4,000万円を補正計上するものであります。

観光では、ジョン万次郎資料館名誉館長のビビる大木氏と高知県にゆかりのある劇団ひとり氏が、プロモーションビデオを制作しながら県内市町村を旅する地域密着型旅番組の誘致に330万円を計上し、中四国各県に向けて土佐清水市の魅力を最大限発信する取組を行うこととしております。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大幅に落ち込んでいるインバウンド観光の再開を見据えるとともに、これまで以上に個人客誘客の取組を推進するため、地域内の移動に電動アシスト自転車を活用したアドベンチャーツーリズムの自然体験プログラムを造成するなどに要する事業費として405万7,000円を計上しております。

以上、議案提出に当たっての説明を終わりますが、詳細につきましては、企画財政課長から説明をいたしますので、何とぞ御審議の上、適切なる議決を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（永野裕夫君） 以上で、提案理由の説明は終わりました。

お諮りいたします。

ただいまから、予算案に対する内容説明を求めたいと思います。

これに御異議の方はございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（永野裕夫君） 御異議なしと認めます。よって、予算案に対する内容説明を求めることに決しました。

議案第44号「令和4年度土佐清水市一般会計補正予算（第3号）について」、説明を求めます。

企画財政課長。

（企画財政課長 横山英幸君登壇）

○企画財政課長（横山英幸君） おはようございます。

議案第44号「令和4年度土佐清水市一般会計補正予算（第3号）について」、御説明をい

たします。

歳出から、御説明いたします。

補正予算書の13ページをお願いいたします。

2款2項1目賦課徴収費、12節委託料231万7,000円は、軽自動車を保有する際に必要な手続や、車検の際の納税確認をインターネット上で行うことを可能とするサービスが、令和5年1月から全国一斉に開始されることに伴い、基幹システムの改修に係る費用を計上するものであります。

5款1項2目農業総務費、14節工事請負費、新地場産品販売施設建築工事4,000万円は、当初予算におきまして、道の駅めじかの里土佐清水の改修に係る費用を計上しているところですが、建築資材の高騰などにより、工事費に不足が生じたことに伴い、増額補正するものであります。財源につきましては、全額施設等整備基金により対応することとしております。

5款3項1目水産業総務費、18節負担金、補助及び交付金、水産業振興事業費補助金105万円は、高知県漁協下ノ加江支所が保有する冷凍保管施設の冷却機が、老朽化により故障したことに伴い、早急に改修する必要が生じたため、改修費用の2分の1を補助するものであります。

6款1項3目観光振興費、10節需用費17万円、12節委託料のうち、体験型観光等強化事業291万2,000円、17節備品購入費97万5,000円の計405万7,000円は、足摺岬エリアの新たな体験メニューとして、eバイク（電動アシスト自転車）を活用した観光プログラムを造成する費用を計上するもので、外国人観光客をターゲットとした外国語版の動画や、QRコードを活用したパンフレットの作成費用のほか、eバイク（電動アシスト自転車）の購入費用を計上するものであります。財源につきましては、全額自然公園財団からの補助金が充当されます。詳細につきましては、予算審議における事業説明書1ページを御参照願います。

同じく、12節委託料のうち、観光プロモーション事業330万円は、コロナ禍における観光誘客促進事業として、テレビの地域密着型旅番組を誘致・放映し、中四国をターゲットとした観光プロモーションを行う費用を計上するものであります。財源につきましては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を見込んでおります。詳細につきましては、予算審議における事業説明書2ページを御参照願います。

14ページをお願いいたします。

9款1項2目事務局費につきましては、教育委員会に配属している外国語指導助手ALTの居住用住宅の借り上げに係る費用を計上するもので、現在利用している住宅の老朽化が著しいため、新たに民間の住宅を市が借り上げ、本人から一部自己負担金を徴収することとしており

ます。現在のALTは今月中に任期満了となり、新たに2名が着任する予定で、今回、市が借り上げる住宅につきましては、新たに着任する2名分の居住用住宅となります。

次に歳入について、御説明いたします。

12ページをお願いいたします。

14款2項国庫補助金、18款1項基金繰入金、20款4項雑入につきましては、歳出予算の財源として計上するものであります。

19款1項繰越金381万5,000円は、今回の補正予算に要する一般財源の不足分として計上するものであります。

1ページをお願いいたします。

以上によりまして、既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ5,155万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額は98億9,993万9,000円となります。

以上で、議案第44号「令和4年度土佐清水市一般会計補正予算（第3号）」の説明を終わります。御審議のほど、よろしくをお願いいたします。

○議長（永野裕夫君） 以上で、予算案に対する内容説明を終わります。

ただいまから質疑に入ります。

ただいまのところ通告による質疑はございません。

この際、各位をお願いいたします。議案第44号は、所管の委員会に付託し審議を願うこととなっております。この点十分お含みおきの上、委員会審議をお願いいたします。

ただいま議題となっております議案第44号は、お手元に配付しております議案付託表のとおり、所管の委員会に付託いたします。

なお、委員会は、本日中に審議を終了されますよう特に御配慮をお願いいたします。

この後、直ちに予算決算常任委員会を開催いたしますので、委員会審査について、よろしくをお願いいたします。

この際、暫時休憩いたします。

午前10時16分 休 憩

午後 1時30分 再 開

○議長（永野裕夫君） 休憩前に続いて会議を開きます。

ただいまから、予算決算常任委員会の審査結果について報告を求めます。

予算決算常任委員会委員長、山崎誠一君。

（予算決算常任委員会委員長 山崎誠一君登壇）

○予算決算常任委員会委員長（山崎誠一君） 予算決算常任委員会審査経過の概要と結果を報告させていただきます。

令和4年土佐清水市議会定例会7月会議で付託を受けました事件について、その審査の概要と結果について報告いたします。

1、議案第44号「令和4年度土佐清水市一般会計補正予算（第3号）について」

（1）歳入については、特に意見もなく了承いたしました。

（2）歳出のうち、5款1項2目農業総務費について

委員から、新地場産品販売施設建築工事について、入札が不落となった経緯また補正予算の算定根拠はとの質疑に対し、執行部によりますと、当初予算は令和3年12月時点の価格で算定していたが、今回の入札に際しては、令和4年4月時点の単価に振り直しを行ったが、資材高騰等のため入札の結果、不落となった。今回の補正予算については、令和4年7月時点の価格で算定を行っており、当初予算に比べると、建築主体工事が約2,700万円、電気設備工事が約500万円、機械設備工事が約100万円、外構工事が約40万円、厨房機器設置工事が約600万円、備品家具工事が約40万円の増となっている。

委員から、指名競争入札には何社が入札に参加し、入札は何回実施したかとの質疑に対し、執行部によりますと、6社が参加し、4回入札したが全て予定価格を上回り不落となったとのことあります。

委員から、最終的に不落となった場合に何か手段はないか、また、指名競争入札を一般競争入札に変える考えはないかとの質疑があり、執行部によりますと、地方自治法施行令に規定されているとおり、再度指名競争入札をかけることになっていることから、再度の入札を予定している。本市においては、一般競争入札は行っておらず、全て指名競争入札としている。一般競争入札をしない理由は、一般公募となると全国から業者が参入することとなり、業者の実績など調査をしないといけないこととなり、時間的、今の職員体制等など課題がある。あわせて市内業者の育成ということもあり、市内業者からも、市内の業者が施工できる事業については、市内業者を指名するよう要望も受けている。そういうことを勘案しながら、現在は指名競争入札としている。県内でも、大きな市町村は一般競争入札を行っているところもあるが、県内ほとんどの市においては指名競争入札で行っていると認識している。

委員から、業者からの要望を聞くことも大事だが、市民の生活を守るために落札価格を抑える努力はしないといけない。執行部の答弁を聞くと、業者の話ししか出てこない。市民の生活を守るため、市民の立場に立って支出を抑えていく努力をしていくべきだと思う。今後の課題になるとのことだが、検討していただきたいとの要請に対し、執行部から、一般競争入札をすると価格を抑えられる可能性もあるかもしれないが、本市で組んでいる予算は、基本的には市内の業者を優先し、市内で経済を回して活性化につなげていくようにしたいと思うが、今後、検討はしていきたいという答弁があり、了承いたしました。

同じく、歳出のうち、6款1項3目観光振興費について。

委員から、eバイクで岬めぐり体験プログラム造成事業について、eバイクコースは具体的に決まっているのかとの質疑に対し、執行部の説明によりますと、在日外国人ライダーのコンサルティングによりコースを選定する予定であり、特に松尾や足摺岬周辺、唐人駄場のコースを推奨し、コースを選定していきたいとのことであります。

委員から、外国人観光客を主なターゲットにということであるが、自然財団補助金との関係でそのような制限があるのかとの質疑に対し、執行部の説明によりますと、特に補助金に関わって制限はなく、今まで来ていただいた外国人観光客の方から唐人駄場や松尾地区の神社などにとっても感動したという声もあり、アフターコロナを見据えたインバウンド観光について、動画や具体的なパンフレットなどがこれまで作成されていなかったことから、今回新たに作成していきたいと考えている。eバイクについては多くの日本人の方にも使っていただけるような取組にしたいとの説明があり、了承いたしました。

以上のとおり、当委員会が付託を受けました事件について、採決の結果、全会一致により、原案のとおり可決いたしました。

○議長（永野裕夫君） 以上で委員会の審査結果の報告を終わります。

ただいまから、委員長報告に対する質疑に入ります。

予算決算常任委員会委員長は、委員長席に御着席を願います。

予算決算常任委員会委員長の報告に対する質疑に入ります。

質疑の方はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（永野裕夫君） 質疑なしと認めます。

以上で質疑を終わります。委員長は自席にお戻り願います。

ただいまから討論に入ります。

討論の方はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（永野裕夫君） 討論なしと認めます。討論を終わります。

ただいまから採決に入ります。

議案第44号「令和4年度土佐清水市一般会計補正予算（第3号）について」、採決いたします。

本案に対する委員長の報告は、原案可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の方は御起立または挙手願います。

（賛成者起立・挙手）

○議長（永野裕夫君） 起立・挙手全員であります。

よって、議案第44号は、原案のとおり可決されました。

以上で本日の日程は全て終了いたします。

この際、執行部の挨拶を許します。

市長。

（市長 泥谷光信君登壇）

○市長（泥谷光信君） どうも御苦労さまでした。閉会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

まず最初に、7月会議に提案をいたしました議案につきましては、全て原案どおり可決いただき、誠にありがとうございました。

議会冒頭の提案理由説明でも触れましたが、高知県では、昨日、一日の感染者数としては過去最多を更新する370名の感染が確認されました。土佐清水市においても、同じく過去最多の8人が感染し、そのうち3人の感染経路が不明であります。先ほど入った本日の速報でも、高知県で328人、土佐清水市でも3人の感染者見込みとなっており、依然として感染拡大が続いていますので、これまで以上に最大級の警戒が必要と考えているところであります。市民の皆様には、引き続き基本的な感染症防止対策の徹底をお願い申し上げます。

終わりに当たり、今任期をもって勇退される甲藤、谷口両議員には、この4年間市の発展に御尽力を賜り、厚くお礼を申し上げますとともに、これからの前途がより充実したものになりますようお願いいたします。

さらには、8月の市議選へ再挑戦される議員の皆様にとりましては、文字どおり厳しく暑い夏を迎えるわけですが、ぜひ市民の皆様から多数の支持を得て、そろってこの議場でお会いできますように、御健闘を心から御祈念申し上げ、閉会に当たっての御挨拶といたします。本日はありがとうございました。

○議長（永野裕夫君） これをもちまして、令和4年土佐清水市議会定例会7月会議を終了いたします。

本日の会議は、これをもって散会いたします。

皆様をお願い申し上げます。会議は終了いたしました。執行部より皆様にコロナ感染について御報告いたしたい旨、これを許します。

副市長。

（副市長 磯脇堂三君自席）

○副市長（磯脇堂三君） 職員のコロナ感染者について御報告をさせていただきます。

昨日、60代女性1名、本日、40代女性1名の職員の感染が確認されました。両人とも、業務上の濃厚接触者はいませんので、報告させていただきます。

今、市長が言ったように感染が続いておりますので、ぜひ皆さんもお気をつけていただきたいと思いますし、執行部におきましては、昨日、臨時課長会を開きまして感染の予防の徹底をしたところでございます。

以上です。

○議長（永野裕夫君） これをもって散会いたします。お疲れさまでございました。

午後 1時43分 散 会